

何建明

【モデレーター】

HO, Jan-Ming

現職： 行政院科技会報オフィス 兼任研究員
科学技術計画首席評議専門家室 主任
中央研究院情報科学研究所 研究員

学歴： 1989年 米国イリノイ州エバンストン市ノースウェスタン
大学電気工学とコンピュータ科学科博士学位
1980年 国立交通大学電子研究所修士学位
1978年 国立成功大学電気工学科卒業



主な職歴

何建明博士は、現在中央研究院情報科学研究所の研究員をしており、1989年に米国イリノイ州エバンストン市ノースウェスタン大学電気工学とコンピュータ科学科で博士の学位を取得した。1978年に国立成功大学電気工学科を卒業し、1980年に国立交通大学電子研究所で修士の学位を取得した。1981-1982年の兵役期間は海軍軍官学校の数学科で教鞭をとった。1982年には中央研究院に入り、助理研究員の職務を務めた後、1989年に副研究員を務め、1994年に研究員に昇進した。2000-2003年に中央研究院情報科学研究所の副所長を務め、同期間にデジタルリポジトリ国家型計画の技術分科会の企画と推進を担当した。2001年に生物情報のサマースクール開催に取り組み、フリーソフトウェア計画（フリーソフトウェア鑄造工場の設立と運営）を推進した。2004-2006年には国家科学委員会企画処の処長を務めた。2007-2012年に王佑曾院士と台湾の展望計画の推進を共同で企画し、萌芽計画と機能センターを推進するとともに、計画シンクタンクと審査委員も長期間にかけて務めた。何博士は2012-2016年には教育部顧問と教育部情報司の顧問を務めていた。

何博士は1987年と1988年二年間の夏休みにIBM T. J. Watson 研究センターでサマリアサーチに従事した。1992年の夏休みにイタリアのレオナルド・フィボナッチ学院のコンピュータ科学基金会の招きに応じ、短期研究に従事した。1993年10月にドイツのザールラント大学ダガスト「集積回路の設計を補助する応用組合方法」シンポジウムに参加した。同シンポジウムは同一分野において国際的傑出な研究成果を収めた学者を選択して招聘するほか、共同で論文を発表し、短期研究を行うシンポジウムである。

何博士の主な研究分野は理論とシステムを結びつけた応用研究で、リアルタイム・マルチメディア・ネットワーク応用（基礎理論及びビジュアル・メディア・サ

ーバー・システムと多人数多方向ビジュアル・ミーティング・システム等応用システム等の技術を含む)、ワイヤレス・モバイル・ネットワークとビルトイン・システム、ネットワーク文書整理検索と自動分類、デジタルアーカイブ管理と展示環境 Computational Geometry and Combinatorial Optimization がある。

何博士は IEEE、ACM、中華民国情報学会 IICM、中華民国コンピュータ学会 CSROC、台湾スマート生活空間発展学会 SmartLISA、台湾集積回路設計学会 TICD、台湾クラウドコンピューティング学会 TACC、台湾金融科技協会 Fintech の会員であり、また、IICM、CSROC、SmartLISA、Fintech の理事でもある。遠哲科学教育基金会、吳三連台湾史料センター、開拓文教基金会等公益団体の董事も務めている。2007-2009 に IICM の理事長を務め、2004-2008 に台湾フリーソフトウェア協会 SLAT の理事長を務めた。